



令和8年度

宮城県 土木部

事業概要

～次世代に「安全・安心」と「活力」を引き継ぐ「持続可能」な宮城の県土づくり～



明日につなぐ×ミヤギの未来
宮城県土木部

新・宮城の将来ビジョン



「持続可能な未来」のための8つの「つくる」

政策推進の基本方向 1
富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

政策推進の基本方向 2
【新規】社会全体で支える宮城の子ども・子育て

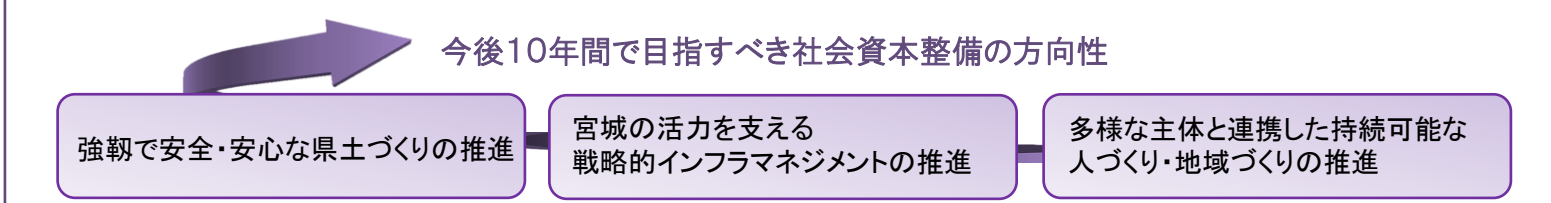
政策推進の基本方向 3
誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

政策推進の基本方向 4
強靱で自然と調和した県土づくり

つくる1 新しい価値 Produce/Promotion	つくる2 成長の基礎 Sustainable growth
つくる3 子育て Support a new generation	つくる4 教育 Education
つくる5 いきいき Richness	つくる6 安全安心 Good health/ Good life
つくる7 自然と共存 Only one Earth	つくる8 県土 Resilience

宮城県土木・建築行政推進計画(2021~2030) ~次世代に「安全・安心」と「活力」を引き継ぐ「持続可能」な宮城の県土づくり~

<基本方針> ~みらいのための新しいインフラ整備に向けて~



基本目標1 自然災害リスクの増大を踏まえた防災・減災対策による県土の強靱化

(1)総合的な豪雨災害対策等の推進
(2)大規模災害に備えた防災態勢の強化
(3)耐震化対策の推進

基本目標2 富県躍進を支える交流・産業基盤の整備

(1)東北の発展を支える基幹的社会資本整備の推進
(2)地域の発展を支え、地域間連携を強化する社会資本整備の推進
(3)交流人口拡大に向けた社会資本整備の推進

基本目標3 多様な主体と連携した持続可能な地域生活基盤の整備

(1)地域住民等と連携・協働した社会資本整備の推進
(2)安全・安心で快適なまちづくりの推進
(3)環境に優しく景観と調和した社会資本整備の推進

基本目標4 加速化するインフラの老朽化に対応した戦略的ストックマネジメントの推進

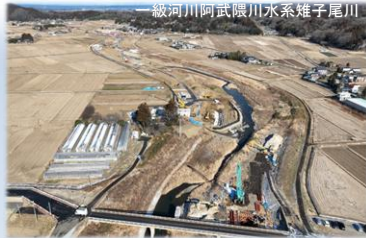
(1)公共土木施設・建築物の適正かつ効率的・持続的な維持管理の推進
(2)公共土木施設・建築物の長寿命化対策の推進
(3)新技術を活用したインフラの更新・管理

基本目標5 持続可能な宮城の県土づくりを支える人材育成と生産性の向上

(1)建設企業の技術力・経営力の向上と担い手の確保
(2)建設産業の働き方改革等の推進
(3)社会資本整備を牽引する職員の育成

令和8年度土木部主要事業概要

基本目標1



- あらゆる関係者と連携した流域治水対策及び総合的な土砂災害防止対策の推進
- 一級河川阿武隈川水系雫子尾川や一級河川北上川水系長沼川等の水害常襲河川の重点整備
- 緊急輸送道路におけるバイパス等の道路整備や法面对策、橋梁の耐震化の推進
- 盛土等情報管理システムの活用、既存盛土等の分布や災害発生危険性の調査により、盛土等に伴う災害防止の推進
- 木造住宅耐震化の推進や危険なブロック塀等の除却による通学路等の安全対策

基本目標2

- 南北軸と東西軸を直結する(仮称)栗原I.C.や、国道286号など郡界道路の整備を進め、産業競争力や地域間連携を強化
- 集貨促進や新規航路開設などの戦略的ポートセールスと、仙台塩釜港(仙台港区)での「せんだいポートラジオ」による航行支援
- 仙台塩釜港(石巻港区)における廃棄物埋立護岸の整備
- 仙台空港の新規就航・増便・機材大型化等を行う航空会社への支援や、グランドハンドリング事業者の体制強化支援



基本目標3

- 利用者のニーズを踏まえた、安全安心に子育てできる公園環境の構築
- 幹線道路の整備や建築物のバリアフリー化など、誰もが暮らしやすいコンパクトで機能的なまちづくりの推進
- 上下水道の安定供給と公衆衛生向上に向けた、広域連携による管理の一体化や人材育成等による経営改善の推進
- 仙台塩釜港や仙台空港におけるカーボンニュートラル実現に向けた取組の推進



基本目標4

- 道路や河川など公共施設の不具合を、県民がスマートフォンアプリを使って気軽に通報できるサービスの運用
- AIやドローン等の新技術を活用した効率的な道路管理や橋梁点検の実施
- 予防保全型の戦略的ストックマネジメントの推進



基本目標5

- 県内建設産業の持続的な発展に向けた、担い手確保・育成、生産性の向上、経営の安定・強化など、官民一体で総合的な取組を推進
- 新技術や災害等に的確に対応できる土木部職員の人材育成
- 技術職員が少ない市町村への支援、パートナーシップの深化



令和8年度予算

県全体予算

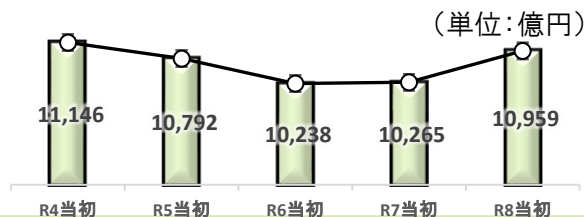
I 予算編成の基本的考え方

令和8年度は、5つの「政策推進の基本方向」のもと、県民や事業者、国、市町村など多様な主体と連携・協働しながら、「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる将来像の実現に向けた取組を着実に推進する。特に、人口減少の進行を見据え、若者・女性に選ばれる宮城づくりや、結婚・妊娠・出産・子育てを社会全体で支える環境整備など、人口減少対策を重点的に推進する。また、喫緊の課題である人手不足への対応として、人材確保や生産性向上の取組、外国人材の受入・定着支援を進めるとともに、デジタル技術を活用した県民生活の利便性向上や産業振興を図る。さらに、関係人口・交流人口の拡大に向けた取組を推進する。加えて、「みやぎ財政運営戦略(第4期)」に基づき、歳入歳出両面にわたる対策を計画的に実施し、県財政の持続可能性に十分配慮した予算編成を行う。

II 当初予算の規模(一般会計)

10,959億円

一般会計の規模は 1兆 959億円 (対前年度比 694億円(6.8%))
総会計では 1兆5,678億円 (対前年度比 467億円(3.1%))



土木部予算

I 予算編成方針(土木部)

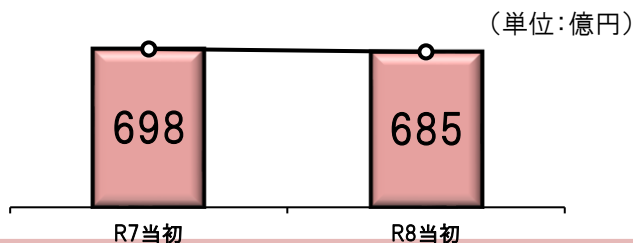
土木部では令和8年度、「宮城県土木・建築行政推進計画(2021~2030)」の6年目、また「中期アクションプラン」の2年目として、計画に掲げた事業・取組を着実に推進する。人口減少の進行やインフラの老朽化、気候変動に伴う災害リスクの増大、物価高騰や労働時間規制など、社会資本整備を取り巻く環境が厳しさを増す中、既存インフラの機能を確実に維持するため、長寿命化対策や予防保全型メンテナンスなど維持管理を優先的に推進する。

その上で、推進計画の基本理念である“次世代に『安全・安心』と『活力』を引き継ぐ『持続可能』な宮城の県土づくり”の実現に向け、「強靱で安全・安心な県土づくり」「戦略的インフラマネジメント」「多様な主体と連携した地域づくり」の3つの基本方針の下、防災・減災対策の推進、産業・交流基盤の整備、戦略的ストックマネジメントの推進や新技術の活用による生産性向上、担い手確保に取り組む。あわせて、国庫補助や有利な起債を最大限活用し、効果的・効率的な事業執行に努める。

II 当初予算の規模

685億円

一般会計 629億円 (対前年度比▲38億円(▲5.7%))
特別会計 56億円 (対前年度比 25億円(81.5%))
総会計 685億円 (対前年度比▲13億円(▲1.9%))



宮城県土木部技術職PR動画 配信中

宮城県土木部では、「総合土木」「建築」「電気」「機械」の技術系公務員を募集しています。土木部の組織や各職種の仕事内容を紹介する動画コンテンツ等を公開していますので、ぜひご覧ください。



ミヤギのドボク



宮城県土木部 RECRUITING

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-madoguchi.html>

インフラ異常箇所通報システム 運用中

道路の陥没や河川護岸の損傷等、インフラの異常を見つけた際に、スマートフォンで撮影した状況写真や位置情報等を登録するだけで、手軽に県へ通報することができるサービスを運用中です。

本サービスを利用するには、デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」のインストールが必要です。(登録にはマイナンバーカードを使用します)

iPhoneの方



Androidの方

